

【はっぴい はっぴい】

# Happy Happy

特集

## 病棟再編



ご自由に  
お持ち帰り  
ください



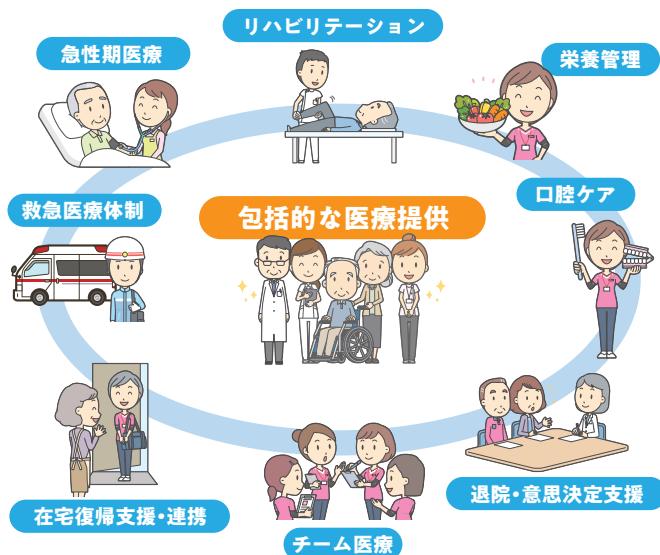
# 地域包括医療病棟のご案内

霧島記念病院 3階病棟は  
**2025年8月より地域包括医療病棟へ  
変更となります。**

## 地域包括医療病棟とは？

「地域包括医療病棟」は、今後益々増加していく高齢者救急医療に対応するために令和6年度に新設された病棟で、地域の急性疾患等の患者さんに包括的な入院医療・救急医療を提供します。軽症・中等症の高齢患者さんの救急搬送を中心に受け入れ、退院後の在宅復帰を目指して治療を行います。

リハビリ、口腔衛生、栄養を一体的に提供し、できるだけ早期の在宅復帰を目指していく病棟です。



## 入院の対象となる方

在宅復帰を目的に医療・看護を要し、必要に応じてリハビリを行う方

## 地域包括医療病棟の入院費について

入院料は「地域包括医療病棟入院料」となります。

軽症・中等症の急性期医療としての投薬料、注射料、簡単な処置料等は入院料に含まれています。リハビリテーション、手術、一部治療においては別に料金が発生します。

## 入院期間について

患者さんの病状により適切な入院期間を提案します。おおよそ21日以内での退院を想定した病棟です。なお、患者さんの病状等に応じて長期入院が必要な場合には、他の病棟をご案内させていただきます。

## 入院される患者さんへ

- 当院ではチーム医療を実践しており、担当の看護師・リハビリ職だけでなく、必要に応じて他のスタッフが対応させていただく場合がございます。
- リハビリテーションを希望される方は、医師の診察が必要となります。なお、診察等の結果によっては実施できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- その他、ご不明な点がございましたら、1階受付にお尋ねください。

# 下肢静脈瘤について ～足の血管が気になる方へ～

## 下肢静脈瘤とは？

足の静脈がふくらんで「こぶ(瘤)」のように見える病気です。

血液の逆流によって起こり、見た目だけでなく、むくみやだるさなどの症状を引き起します。

### ◆主な原因

- ✓ 加齢
- ✓ 長時間の立ち仕事や座り仕事
- ✓ 妊娠・出産
- ✓ 肥満
- ✓ 遺伝

### ◆症状のサイン

- ・足の血管が浮き出る、こぶがある
  - ・足のむくみ
  - ・だるさや疲労感
  - ・かゆみや熱っぽさ
  - ・夜間のこむら返り
- 放置すると症状が悪化することもあります。

### ◆診断

- ・問診、身体診察、超音波(エコー)検査など

## 治療方法

### 1. 保存療法

- ・弾性ストッキングの着用
- ・運動療法や体重管理

### 2. 非外科的治療

- ・硬化療法(静脈に薬剤を注入して閉塞させる方法)

### 3. 外科的治療

- ・瘤のある静脈を結紮する手術(高位結紮術)
- ・瘤の除去(抜去術)
- ・血管内焼灼術: カテーテル治療(レーザー、ラジオ波)

※血管内焼灼術(カテーテル治療)について皮膚を切開して抜去するのではなく、カテーテルで血管の内側から治療します。体への負担も少なく(低侵襲)で、傷もないため、日帰り手術も可能です。

	下肢静脈瘤血管内焼灼術 (カテーテル治療)	下肢静脈瘤手術 (抜去切除術)
6月	2	0
7月	2	0
8月	4	1

## 予防のポイント

- 適度な運動
- 長時間同じ姿勢を避ける
- 足を高くして休む
- 適切な体重の維持

## ご相談ください

下肢静脈瘤は珍しい病気ではなく、適切に治療できる病気です。  
「足の血管が気になる」  
「むくみやだるさがある」  
そんなときは、どうぞお気軽にご相談ください。



# 緊急性の高い症状がある場合は重大な病気やけがの可能性も

医師 上田 剛 先生



## 救急車を呼んだ方が良いのはどんなときでしょうか？

—近年、救急要請が増加し、現場は逼迫(ひっぱく)していると聞きます。

**上田先生**:脳神経外科、整形外科、内科、外科、血管外科、救急科を標榜し、年間約1000件の救急車の受け入れを行っている当院。高齢化社会の今、これからも救急要請は増加傾向にあると考えられます。救急車は限りある資源です。突然の重い病気やけがなど、本当に必要とする人に届けられ、命を守るために社会全体で取り組んでいくことが大切です。とはいっても、緊急性の高い症状がある場合は、一刻を争いますのでためらわずに救急車を呼んでください。

## 緊急性の高い症状とは？

**上田先生**:のどを詰まらせた、呼吸や脈が普段より遅いもしくは速い、血圧が低い(冷や汗をかいている)、意識がないもしくはもうろうとしている、体がまひしているといった場合は、急を要する重大な病気やけがの可能性があります。

## 緊急か迷ったとき、どうしたらいいですか？

**上田先生**:消防庁がウェブ版とスマホ版で提供している全国版救急受診アプリ「Q助」なども活用して、救急車を呼ぶ目安にしてください。



全国版救急受診アプリ「Q助」

# 医師による職員向け勉強会を開催しました

## ～救急医の思考・下肢静脈瘤について学ぶ～

当院では職員の知識向上と医療の質のさらなる向上を目的に、院内勉強会を開催しました。

5月21日には、救命救急医の上田医師による「救急医の思考」をテーマに講義を行いました。講義では、救急外来で日々行われている「限られた情報と時間の中で判断するための思考プロセス」が紹介され、具体的な症例を交えてわかりやすく解説がありました。

続いて6月25日には、血管外科 岩元医師による「下肢静脈瘤」をテーマに講義を行いました。下肢静脈瘤の病態や症状、診断方法、最新の治療法について分かりやすい説明があり、日常業務における患者さんへの声かけや観察の視点を学ぶ機会となりました。どちらも医師・看護師・検査技師・事務職員など多職種から多数の参加があり、会場は熱気に包まれました。今後も引き続き、職員のスキル向上とチーム医療の強化につながる勉強会を開催していく予定です。



# 第61回 霧島国分夏祭りに参加しました!

2025年7月26日、27日の2日間『霧島国分夏祭り』が開催されました。

霧島記念病院として26日に行われた総踊りに久しぶりに参加しました。地域の皆さんと一緒に踊り、夏の賑わいを体いっぱいに感じることができました。

当日は法被に身を包んだ職員が列をなし、おはら節、ハンヤ節、おじゃんせ霧島を音楽に合わせて笑顔で踊りながら沿道の皆さんに手を振り、声援をいただきました。地域の方々との一体感を味わうとともに、職員同士の親睦も深まり、忘れられない夏の思い出となりました。

来年以降も地域行事に積極的に参加し、地域の皆さんとのつながりを大切にしてまいります。



# リハビリテーション部 定期勉強会の紹介

リハビリテーション部では、理学療法・作業療法・言語聴覚療法の各部門で月に1回の頻度で勉強会を開催しています。勉強会の内容は、各スタッフが現場で悩んでいることや改善が必要だと気付いたことなどを取り上げています。自由参加で、講師をしてくれるスタッフは他薦で選ばれ、スタッフそれぞれの得意分野を発揮してくれているのが、当リハビリテーション部勉強会の特徴です。依頼されると快く受けってくれるので、運営する側も助かります。

リハビリテーション部は、現在40名のスタッフが所属しています。新卒のまま1つ目の職場として働いている方もいれば、県内外の医療機関や介護施設など様々な現場を経験してきたスタッフもあり、経験豊富なスタッフが集まっています。勉強会を機に臨床に取り入れたいと感じたことを患者さんに還元できる。そんなリハビリテーション部を目指して、勉強会運営に取り組んでいます。

## これまで開催した勉強会の内容（一部）

- ・カリステニクストレーニング理論
- ・大腰筋の神経筋促通の仕方
- ・膝のリハビリ技術
- ・日常生活動作を見るポイント
- ・車いすの選び方と活用方法
- ・痛みに対する徒手療法
- ・上肢の促通訓練について
- ・学会の報告
- ・認知症予防教室の紹介
- ・電気刺激装置の使用方法（運動・嚥下）
- ・装具適応の考え方
- ・長下肢装具の活用事例
- ・認知症アセスメントについて
- など



PT勉強会の様子



ST勉強会の様子



カリステニクストレーニング理論



肩関節のSJF



ADL動作の見方



電気刺激装置の活用方法





撮影者：北園 由香

解 説：青島神社で御朱印をゲットし、青空の下で女子旅を楽しみました。映えスポットもあるので、ぜひカメラを持って遊びに行ってみてください。

脳神経外科・整形外科・内科・血管外科・外科  
救急科・循環器内科・リハビリテーション科

**医療法人 健康会  
霧島記念病院**  
Kirishima Memorial Hospital

〒899-4322 鹿児島県霧島市国分福島1丁目5-19

TEL:0995-47-3100 FAX:0995-48-7312

HP <http://kirishima-memorial.jp/>

mail:[info@kirishima-memorial.jp](mailto:info@kirishima-memorial.jp)



### Access

- 九州自動車道溝辺空港インターより車で20分
- 東九州自動車道隼人東インターより車で5分
- JR国分駅より車で10分
- JR隼人駅より車で10分

